

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2023年12月)

【内政】

- 21日、タロン大統領は国民議会で一般教書演説を行い、ニジェールを含むクーデター発生国との早期関係再構築を望んでいると述べた。(22日各紙)
- 23日、タロン大統領はベナン国立ラジオ・テレビ局(ORTB)のインタビューで、次期大統領選挙での、自身との近さを理由とする特定候補者の支持を否定した。また、対ニジェール制裁の転換可能性、ナイジェリアとの関係強化等に言及した。(26日、La Nation 紙他)

【外政】

- 12日、ベナン・モロッコ外相電話会談が実施され、ベナン人がモロッコに入国する際のオンラインビザ取得手続き簡素化等が決定された。(12日、La Nation 紙他)
- 18日、アジャディ・バカリ外務大臣は、ジャイシャンカル・インド外務大臣と会談し、農業、教育、繊維業及び防衛分野における両国間協力強化等に合意した。(19日、La Nation 紙他)

【治安】

- 9日、ブルクハルト仏軍統合参謀総長は、バギディ・ベナン国軍参謀総長と会談し、両国軍間の協力強化等につき協議した。(11日、La Nation 紙他)
- 14日、ホフマン・ベルギー軍統合参謀総長は、バギディ・ベナン国軍参謀総長と会談し、両国軍間の協力強化等につき協議した。(15日、La Nation 紙)

【経済】

- 6日、コメ、植物油、野菜、セメント、棒鋼、衣類、航空機、石けん、化粧品等の計43品目につき、ベナンからナイジェリアへの輸出禁止が解除された。(8日、Le Matin Libre 紙他)

【文化・その他】

- 16日、在ベナン中国大使館は、コトヌ市内国際会議場で、一体一路構想10周年記念雑技公演を開催した。(18日、La Nation 紙)
- 27日、在ベナン日本国大使館は、コトヌ市内の屋内総合運動場において、大使館杯柔道大会をベナン柔道連盟と共催した。(29日、La Nation 紙他)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- 3日、ウンベジ政府報道官は、ウンデテ野党・民主党(Les Démocrates)第一副党首が野党代表を務める旨の大統領令が公布済みである以上、同党の申し出なしに、ヤイ同党新党首が自動的に野党代表になることはないとして述べた。(4日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)

- ・ 8日、2024年度当初予算案が国民議会で可決、成立した。予算額は3兆1,992億7400万CFAフラン、前年度当初予算比1,659億CFAフラン(5.5%)の増加となる。民主党所属国民議会議員28名中、27名が反対票を投じた。(11日及び13日各紙)
- ・ 16日、新しいベナンのための民主連合(UDBN党)は臨時総会で、国家再生党(RN党)への党名変更を決定した。(18日、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙及び Le Matin Libre 紙)
- ・ 21日、タロン大統領は国民議会で一般教書演説を行い、ニジェールを含むクーデター発生日との早期関係再構築を望むと述べた。また、低インフレ率、良好な経済成長見通し、職業・技術教育重視、医療人材雇用、インターネット普及に向けた工事等に言及した。(22日各紙)
- ・ 23日、タロン大統領はベナン国立ラジオ・テレビ局(ORTB)のインタビューで、次期大統領選挙での、自身との近さを理由とする特定候補者の支持を否定した。また、対ニジェール制裁の転換可能性、ナイジェリアとの関係強化等に言及した。(26日、La Nation 紙及び Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 4日、エジプト・アラブ共和国大使が、信任状写しをアジャディ・バカリ外務大臣に提出した。(5日、La Nation 紙、11日、Le Matinal 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 10日、ECOWAS首脳会合で、ニヤシンベ・トーゴ大統領及びビオ・シエラレオネ大統領がニジェール仲介役に、ベナン大統領代表者及びナイジェリア大統領代表者が同仲介役補佐に、それぞれ任命された。(11日及び12日各紙)
- ・ 12日、ベナン・モロッコ外相電話会談が実施され、ベナン人がモロッコに入国する際のオンラインビザ取得手続き簡素化等が決定された。(12日、La Nation 紙、13日、Le Matinal 紙)
- ・ 13日から17日、タロン大統領は仏マルティニーク県を訪問し、レッチミー・マルティニーク執行評議会議長と会談した他、訪問中に、コトヌー・マルティニーク間の航空直行便開設を目指すと発表した。(18日、La Nation 紙及び L'Événement Précis 紙)
- ・ 18日、アジャディ・バカリ外務大臣は、ジャイシャンカル・インド外務大臣と会談し、農業、教育、繊維業及び防衛分野における両国間協力強化等に合意した。(19日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び Le Matin Libre 紙)

【治安】

- ・ 9日、ブルクハルト仏軍統合参謀総長は、バギディ・ベナン国軍参謀総長と会談し、両国軍間の協力強化等につき協議した。(11日、La Nation 紙、L'Événement Précis 紙及び Le Matin Libre 紙)
- ・ 14日、ホフマン・ベルギー軍統合参謀総長は、バギディ参謀総長と会談し、両国軍間の協力強化等につき協議した。会談後、ホフマン統合参謀総長は、両国国軍間の協力の中心は、海軍の訓練及び諜報分野における教育であると述べた。(15日、La Nation 紙)
- ・ 19日から21日、国際移住機関(IOM)は、独の資金提供を受け、ボルグ(BORGOU)県パラク(Parakou)で、共和国警察官及び税関職員を対象に、国境管理に係る講習会を開催した。(22日、Le Matin Libre 紙)

【経済】

- ・ 11月29日、米国からベナン国軍への軍事装備品130億CFAフラン(約32億円)分の引渡式が実施され、シューカン駐ベナン米大使が出席した。(1日、Le Matinal 紙、2日、La Nation 紙)
- ・ 6日、コメ、植物油、野菜、セメント、棒鋼、衣類、航空機、石けん、化粧品等の計43品目につき、ベナンからナイジェリアへの輸出禁止が解除された。(8日、Le Matin Libre 紙、15日、La Nation 紙及び Le Matinal 紙)
- ・ 11日、ベナン電気通信・郵便規制局(ARCEP)とマリ電気通信・ICT・郵便規制局(AMRTP)は、両国のモバイル通信事業者間のローミングに関する協力協定を締結した。(12日、Le Matin Libre 紙、13日、L' Economiste 紙、19日、La Nation 紙)
- ・ 14日、EU及びルクセンブルクの資金協力による、「モノ県越境ユネスコ・エコパーク」及び「ブーシュ・デュ・ロワ海洋保護区」経済開発プログラム開始式典が実施され、セニンガー駐ベナン・ルクセンブルク臨時代理大使他が出席した。(15日、La Nation 紙及び Le Matinal 紙)
- ・ 14日、IMFは、強靱性・持続可能性ファシリティの枠内で、約2億ドルの対ベナン融資を実施すると発表した。(18日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び L' Economiste 紙)
- ・ 15日、ベナン政府とEUの間で、1億7千万ユーロの対ベナン供与協定が締結された。(19日、La Nation 紙及び L' Economiste 紙、20日、Le Matinal 紙)
- ・ 19日、在ベナン米国大使館は、法務・立法省へのOA機器供与式を開催し、シューカン米大使及びデチェヌ国璽尚書・法務・立法大臣他が出席した。(20日、La Nation 紙及び Le Matinal 紙、22日、L' Economiste 紙)
- ・ 27日、コトヌ自治港は、ニジェル向け物品の同港における荷下ろしの再開を発表した。(28日、La Nation 紙、Le Matinal 紙及び L' Economiste 紙)

【文化・その他】

- ・ 11月29日、ベナン政府は閣議で、心臓外科及び麻酔・蘇生科の医師その他医療従事者計30人を、研修目的で欧州に派遣することを決定した。(1日、La Nation 紙、4日、Le Matinal 紙)
- ・ ベナン出身の空手選手アジャンウン選手は、世界空手連盟の世界ランキングで、カデット(14~15歳)男子70kg超級の第1位となった。(14日、Le Matin Libre 紙、15日、Le Matinal 紙)
- ・ 16日、在ベナン中国大使館は、コトヌ市内国際会議場で、一体一路構想10周年記念雑技公演を開催した。(18日、La Nation 紙)
- ・ 16日、「中国・ベナン協力のためのメディアネットワーク」主催・中国大使館後援のジャーナリズム賞の授与式が開催された。また、ベナン駐ベナン中国大使に対して、ジャーナリストへのプレゼント贈呈、賞の授与及び会食開催等に対する感謝状が授与された。(19日、La Nation 紙、21日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 18日から23日、アフリカ空手連盟西部第2地域空手道選手権大会が開催され、ベナンはメダル計17個(金メダル4個を含む)を獲得した。(27日、Le Matin Libre 紙、29日、Le Matinal 紙)
- ・ 27日、在ベナン日本国大使館は、コトヌ市内の屋内総合運動場において、大使館杯柔道大会をベナン柔道連盟と共催した。(29日、La Nation 紙、L' Economiste 紙及び Le Matin Libre 紙)